

謝辞

本稿の編集にあたり、下記の学識専門家の皆様及び火山噴火予知連絡会委員・検討会委員には掲載図の選択、編集、資料提供、及び編集原稿の内容確認等で細部まで有益なご助言を戴いた。ここに感謝の意を表す。

青山裕^{*1}、井口正人^{*2}、今給黎哲郎^{*3}、石塚治^{*4}、石塚吉浩^{*4}、石原和弘、伊東明彦^{*5}、伊藤順一^{*4}、伊藤弘志^{*6}、稲葉千秋^{*7}、宇井忠英^{*44}、植木真人^{*8}、上嶋誠^{*9}、鶴川元雄^{*10}、馬越孝道^{*11}、及川輝樹^{*4}、大島弘光^{*1}、大見士朗^{*2}、大湊隆雄^{*9}、岡崎紀俊^{*12}、荻津達^{*13}、奥野充^{*14}、鍵山恒臣^{*2}、勝井義雄、加藤幸弘^{*6}、金子隆之^{*9}、鹿野和彦^{*15}、川邊禎久^{*4}、木股文昭^{*16}、工藤崇^{*4}、下司信夫^{*4}、小泉尚嗣^{*4}、小菅正裕^{*17}、後藤芳彦^{*18}、小林淳^{*19}、小林哲夫^{*15}、小山真人^{*20}、斎藤元治^{*4}、佐々木実^{*17}、篠原宏志^{*4}、芝田厚^{*6}、嶋野岳人^{*21}、清水洋^{*22}、須藤靖明^{*23}、代田寧^{*24}、高田亮^{*4}、高橋正樹^{*10}、高橋良^{*12}、宝田晋治^{*4}、武尾実^{*9}、棚田俊收^{*25}、為栗健^{*2}、千葉達朗^{*26}、津久井雅志^{*27}、筒井智樹^{*28}、筒井正明^{*19}、寺田暁彦^{*29}、東宮昭彦^{*4}、土井宣夫^{*30}、永尾隆志^{*31}、中川光弘^{*1}、中田節也^{*9}、中野俊^{*4}、中道治久^{*32}、中村洋一^{*5}、西来邦章^{*4}、野上健治^{*29}、橋本武志^{*1}、林信太郎^{*28}、早津賢二^{*33}、伴雅雄^{*34}、平松良浩^{*35}、藤井敏嗣^{*44}、藤田浩司^{*26}、藤縄明彦^{*36}、藤光康宏^{*22}、東野外志男^{*37}、古川竜太^{*4}、星住英夫^{*4}、前野深^{*9}、増渕佳子^{*43}、松島健^{*22}、松本聡^{*22}、萬年一剛^{*24}、三浦大助^{*38}、三松三朗^{*39}、三宅康幸^{*40}、村上亮^{*1}、森田裕一^{*9}、守屋以智雄、八木浩司^{*34}、八木原寛^{*15}、山岡耕春^{*32}、山田芳恵、山元孝広^{*4}、山元正継^{*28}、山本希^{*8}、山谷祐介^{*9}、山脇輝夫^{*29}、吉本充宏^{*1}、和田恵治^{*41}、渡辺秀文^{*42}

(五十音順、敬称略)

*1 北海道大学、*2 京都大学、*3 国土地理院、*4 独立行政法人産業技術総合研究所、*5 宇都宮大学、*6 海上保安庁、*7 国際航業株式会社、*8 東北大学、*9 東京大学地震研究所、*10 日本大学、*11 長崎大学、*12 独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所、*13 千葉県、*14 福岡大学、*15 鹿児島大学、*16 公益財団法人地震予知総合研究振興会東濃地震科学研究所、*17 弘前大学、*18 室蘭工業大学、*19 株式会社ダイヤコンサルタント、*20 静岡大学、*21 富士常葉大学、*22 九州大学、*23 阿蘇火山博物館、*24 神奈川県温泉地学研究所、*25 独立行政法人防災科学技術研究所、*26 アジア航測株式会社、*27 千葉大学、*28 秋田大学、*29 東京工業大学、*30 岩手大学、*31 山口大学、*32 名古屋大学、*33 妙高火山研究所、*34 山形大学、*35 金沢大学、*36 茨城大学、*37 石川県白山自然保護センター、*38 一般財団法人電力中央研究所、*39 三松正夫記念館、*40 信州大学、*41 北海道教育大学、*42 東京都、*43 富山市科学博物館、*44 環境防災総合政策研究機構